ふと気がつくと、40才になっていた。いつの間に年を重ねたのだろうと、自分自身に驚く。

そう言えば最近、四十肩ですと言われても別に驚きもしなくなっていた自分がいた。

朝のラジオ体操をせねば…。

知り合いの子供が小学1年生になったと聞いて驚く。

そう言えば、自分の子供たちももう中学校を卒業しようとしている年になっていたのに気がつく。

もっと会話をせねば…。

ふと気がつくと、仕事に就いてから、もう20年になるのかと驚く。

そう言えば、若い人達が沢山増えているのに情報に疎くなった。

もっとアンテナを張りめぐらさなければ…。

アミューズの原稿の〆切は月末だと自分に言い聞かせ、なんとか書き上げホッとしていると、次の〆切が近づいているのに驚く。

そう言えば、担当者の方には、いつも迷惑のかけ通しである。

〆切は守らなければ…。

ふと気がつくと、FANSを始めてから7年を経過しているのに驚く。

そう言えば、いろんな人に出会い、いろんな人にお世話になり、いろんな人が去って行った。

そのそれぞれの時を大切にしなければ…。

自分はその気はないのに、敵が多いですねと言われて驚く。

そう言えば、崇られているのか朝の爽やかな目覚めがないのと、最近、腹の調子が良くない。

一度、イタコさんに相談に行ってみようかしら…。

ふと気がつくと、話をしても分からない人に一生懸命になるのをやめた自分に驚く。

そう言えば最近、気が楽になった。

もっと好きなことに労力を使わなければ…。

この年になって、友達と呼べる人が少ないのに驚く。

そう言えば、挨拶を交わしただけで「あの人は友達だ」と言う人が周りには沢山いるなぁ。

人脈がない中で、どれだけの事が出来るのか、いつまでも挑戦する気持ちを持ち続けなければ…。

そんな、驚きと、驚きもしなくなった自分を見ながら、よくもこんなにズウズウシクなれたものだと妙に感心する。

糞尿を垂れ流し、這いずり廻っても生きて行かなければならないという覚悟を持ち、人脈に頼らず企画をし、表現の手法は常に変わり続けるという恐ろしさを知っているならば、恐れるものは何も無い。何よりも恐ろしいのは、自分自身に枠をはめる事である。

自分の居場所を作ることに必死になり、不自由になっていく人が何と多いことか…。

60才になっても、80才になっても、人生のステージは、まだまだ始まったばかりで、これからでも何でも出来ると思える気構えは無くしたくない。

どうせ、自分自身からは逃げられないのだから…。

●

今年の10月13日と14日の2日間、県の提唱した21世紀まつりプロジェクトが展開される。

青森市、八戸市、弘前市の3市において、若者のエネルギーを燃焼させるような、21世紀の新しい祭りを創造しようというものである。

八戸市では「南部道楽千年祭」という名称で、中心街でのパレード、市庁前市民広場においてのステージを予定している。

現在、出演者を募っている段階であるが、着々と準備は進んでいる。そんな中、これが発刊される頃にはもう終わっているかもしれないが、ステージ公演のオーディションが、7月26日八戸市文化ホールで開催される。

これからでも遅くはありません。興味のある方は是非、この新しい祭りに、出演者としてでも、スタッフとしてでも参加してみませんか。

1999年11月12日「そして誰かがいなくなった」脚本：長尾広海

演劇空間スペースベン

「気がつけば……」

〈文／スペースベン代表・田中　勉〉

8月のFriday Amusement Negative Shop

■8月3日　391回
安達良春プラスワンシアター
タイトル未定

■8月10日　392回
ben select.005

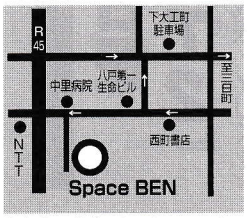
■8月17日　393回
adachi select.005

■8月24日　394回
yamakei select.003

■8月31日　395回
ben select.006

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

※全て午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。
（近くに西町書店駐車場有り）

問　スペースベン
八戸市柏崎1−11−8
☎&FAX 43−9876

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないでいるあなた、一度「物語」を書いてみませんか？　FANSでは、そんな方の思いを大切にして舞台にのせてみたいと思っております。

☞ スペースベンHPアドレス　http://spaceben.com/
Eメールアドレス　fans@spaceben.com